

Course number		U-LAS02 10005 LJ35					
Course title (and course title in English)		東洋美術史 I History of Oriental Art I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,TAKENAMI HARUKA
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Arts, Literature and Linguistics(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods		Mon.3		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
中国絵画は古代以来の歴史があり、伝統の上に創造が加えられることで豊かな展開を遂げてきた。東洋美術史Iでは、その始まりから唐代までを現存作品と関連文献によってたどってみたい。特に美術史学の特徴である作品からのアプローチを重視し、各時代の代表作例を軸に論じていきたい。日本絵画へ与えた影響も大きく、我々自身の文化的土壌を知る機会にもなるだろう。各回ごとに講義レジュメを配布し、関連作品をプロジェクターで紹介する。設問も交えつつ、作品の主題や表現、時代背景などを解説する。							
[Course objectives]							
中国絵画史に関する基礎的な知識と研究方法を習得し、美術研究はもとより制作や鑑賞にも活用できるようにすることを目標とする。							
[Course schedule and contents)]							
1. ガイダンス 2. 美学と芸術・美術 3. 中国における芸術・美術の概念 4. 中国美術を学ぶための基礎知識 5. 中国美術の黎明 1 新石器時代～殷周 6. 中国美術の黎明 2 春秋戦国 7. 古代帝国の造形 1 秦 8. 古代帝国の造形 2 前漢 9. 古代帝国の造形 3 後漢 10. 人物画の発達と画の六法 魏晉南北朝 1 11. 山水画の誕生 魏晉南北朝 2 12. 道釈人物画の隆盛 隋～唐 1 13. 盛唐における山水の変 唐 2 14. 水墨画の成立と樹石画 唐 3 フィードバック							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
レポート：7割 授業参加状況と小課題：3割							
<div style="text-align: right;">Continue to 東洋美術史 I (2)</div>							

東洋美術史Ⅰ(2)

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

『世界美術大全集 東洋編』(小学館)(全17巻、1997～2001年。)

曾布川寛監修『中国書画探訪 関西の収蔵家とその名品』(二玄社)(関西中国書画コレクション研究会編、2011年。)

宇佐美文理『中国絵画入門』(岩波書店)(岩波新書、2014年。)

[Study outside of class (preparation and review)]

日ごろから博物館・美術館・社寺などに出かけ、美術作品を実際に見てもらいたい。また、『論語』、『莊子』など中国の代表的な古典に親しんでほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

毎回配付する講義レジュメは、小課題にも使用するので、取り忘れが無いように注意すること。復習にも使うので、1、2回前の分も持ってくるのが望ましい。

[Essential courses]